

# 女性NPO法人と行政の協働による 「<sup>すさわ</sup>須沢地下横断歩道ワークショップ」

受賞機関 国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所

## 事業の概要

一般国道8号は新潟市を起点とし、京都に至る日本海側を縦断する主要幹線道路である。

このうち、新潟県糸魚川市須沢地区の一般国道8号田沢交差点において、横断歩道橋の老朽化に伴い、地下横断歩道の新設工事を行った。

地下横断歩道の整備にあたり、利用車の9割が小学生であるという特性からも、安全で利用しやすい地下横断歩道づくりが求められた。

そこで、地域住民の意見を十分反映させるため、女性の視点で道づくり、まちづくりの活動を行っている女性NPO法人に協力をいただき、地域住民と「須沢地下横断歩道ワークショップ」を実施し、平成16年11月に完成した。

## 施設及びワークショップの概要

- 箇所：新潟県糸魚川市須沢地区  
(一般国道8号)
- 事業内容：地下横断歩道設置
- 事業期間：平成15年度(本体)～平成16年度  
上屋及び内外装(H16.11.26完成)
- ワークショップ参加人数：38名
- ワークショップ開催回数：5回

## 事業の特徴及び効果

ワークショップは、地域住民、小学校教諭、PTA、児童、NPO、行政の38名で構成されており、平成15年11月～平成16年11月の約1年間を通して計5回実施した。

このワークショップを成功させるためには、地域住民の積極的な参加意識や事業に対する関心を引くことが重要と考え、以下のような試みを実施した。

### (1) ワークショップの企画・運営

女性NPO法人に、住民と行政の中立的な立場でワークショップの企画、司会、運営を実施した結果、スムーズな運営が可能となった。



ワークショップの様子

### (2) 分かりやすい説明と検討資料の作成

地域住民の視点に立って、やさしく分かりやすい検討資料とするため、パワーポイントで事例や現地写真、検討内容を説明し、また、イメージ図等を作成し検討を行った結果、事業計画の理解が深まった。

### (3) 現地での色合わせ検討

現地で内外装の色合わせや照明等のデザインを検討した結果、完成時のイメージが理解された。

### (4) 広報活動の実施

全町民へ広報誌を2回発行し、また、ホームページにも掲載した結果、多くの町民からワークショップでの検討内容や工事の進捗状況を知ってもらうことができた。

### (5) 現場見学会の実施

小学生を対象に現場見学会を実施した。

### (6) 地下横断歩道の愛称募集

親しみをもって地下横断歩道を利用していただくため、愛称を募集した結果、71点の応募があり、地下横断歩道工事の広報にもなった。

### (7) 地下横断歩道内の清掃

ワークショップを行ったことにより、地域で施設管理意識が高まった。その結果、清掃活動を、田沢小学校JRC(青少年赤十字)委員会の児童が毎月1回の清掃活動をVSP<sup>注</sup>体制で行うこととなった。



清掃活動の様子

完成後の利用状況

## おわりに

女性NPO法人と協働でワークショップの企画・運営を行い、事業に対する興味、関心を引き出すとともに、活発な意見やアイデアをいただくことができた。このように女性NPOと協働したことにより、行政と地域住民がより良い関係をつくりながら検討を進めることができ、完成後も小学生や地域住民に親しんで利用されていることが、最大の成果である。

特定非営利活動法人「女性みちみらい上越」

(注) VSP：ボランティア サポート プログラム